



第370号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086) 420-1311



助け合おうよ



カット：
本多紘子

枯れ葉舞い、秋寒のころとなりました。今夏は異常な猛暑で、お彼岸過ぎまで真夏日のようでしたが、10月に入ると突然に涼しく冷え込んで驚いています。一日の寒暖の差が激しく、体調を崩す方も多く新型コロナウイルスの心配もあり、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年もあと2ヶ月となりましたが、中国の武漢で昨年末に発生した新型コロナウイルスの世界的流行が治まらず、感染者が世界で4千万人を超えており、第2波、第3波と感染者数が増えているのは憂鬱です。新型コロナウイルスが一日でも早く開発され、世界の国が安心して、経済活動や日常生活が戻ることを願うばかりです。

ヨーロッパでは2月下旬に新型コロナウイルスの感染が拡大し、各国が閉鎖状態となり、人と人が交流することが制限されました。日本でも政府は4月7日に緊急事態宣言を出し、不要不急の帰省や旅行などの移動を控えるよう国民に呼びかけ、観光業やホテル業・飲食店・居酒屋などの事業者には休業要請をしました。だが、半年たってもコロナ感染は治まらず、店を廃業する人が増え日本経済も大変なことなのです。

先進国では、雇い止めや倒産で貧困に陥る人が増えています。特にシングルマザーなどの一人親世帯が職を失って、子供たちに食事を与

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

えられないなど困窮する人が増えているのです。日本でも、生活に困っている人に無料で食料品を提供するボランティア活動をする人もいて、感動します。「助けて」と気軽に言える社会を築きたいですね。

コロナ対策でオンライン中心の授業を受けている大学生たちが、やる気が起きないとか、強いストレスを感じると嘆いています。旅行にはお金を補助して貰って行けるのに、お金を払っても授業には行けない。小中高生は普通に通学し、大人はキャンペーンで旅行まで楽しんでるのに、なぜ学生だけが家にいないと行けないのかという疑問に對して、大学生は行動範囲が広く、飲酒を伴う集まりの機会が多いので集団感染のリスクが大きく、感染が起これば、世間の厳しい批判が大学側に向けられるので、慎重姿勢をとらざるを得ないとあります。が、今年の春に入学した大学生たちは、友達と知り合うこともなく、サークル活動も出来ず、何のための大学かと失望しています。

人と人とがふれ合って、考え方やものの受け止め方の違う人たちがら学ぶことが若いときは大切です。成功した人からだけ学ぶのではなく、失敗した人からも学ぶ。人生を無傷で痛みの分からない人間になるより、痛みを分かち合う人間社会を作ろうよ。どんな過去であつても、やり直しが認められる社会こそ今の時代に必要だと思えます。

この「ともしび11月号」が発行される頃は、アメリカの大統領選も決まっているだろうか。世界をリードし、憧れられた国の大統領選だから、お祭りのように華やかでしたが、最近の大統領選は政策で戦わずに、個人批判で相手を貶めるのは見苦しい。現職の共和党である74歳のトランプ大統領と77歳の民主党選出のバイデン氏との一騎打ちですが、正々堂々と政策で戦って、未来を担う大勢の子供たちに尊敬される大統領の品位を、トランプ氏は見せて欲しかったのです。

仏語に「何びとも他人を欺いてはならない。他人を軽んじてはならない。全世界に対して無量の慈悲の心を起こすべし」とあり、心の貧しい人間だけにはならないようにしたいな。合掌 (奥原 曇龍)

『コロナ禍で悩み苦しむ人増える 互いを励まし助け合おうよ』 どんりゅう



カット：
奥原 綾

ともしび説法

日時・十一月 三日「火曜日」 午後一時から午後四時まで。
十二月十八日「金曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり(49)

インドのマガダ国を中心として、教えを広められていたお釈迦様は成道後二三年の間に、外教の人たちから一般の在家の人たちに至るまで、仏教に帰依するものが次第に多くなつていきました。

国王の鬘婆娑羅、王宮の人々、群臣たちを始めとして、村長、家長(主人)、婦人、バラモン、遊行僧、ジャイナ教徒などが仏教教団に入団したのです。

お釈迦様は、村落を支配し尊敬されている村長たちに生活の在り方や正しい人生観を伝えて尊敬され、仏教の考え方を広めます。

マガダ国は鉄を精錬し、貿易もして、衣食住が豊かな国でした。つまり貨幣経済が浸透しており、もの流通がスムーズだったから金持ちの強国だったのです。そのマガダ国王の宮中で、群臣の集会の際に、仏教教団のことが噂となり、仏教の僧団は金銭を受け取ることが許していると非難されます。当時の宗教教団は、在家の人たちから衣食住に関しては布施をして貰つても、金銭は受け取ってはならないという不文律があったからです。

お釈迦様も、金銭を受け取ることは官能の欲を増長させるので、いかなる理由があつても金銭を受け取ってはならないと弟子たちに強く述べられています。今の私たち仏弟子にとつては耳の痛い話です。在家の人たちから食べ物や着る物を施していただいていた生活から、現在では御布施でなく、お経料のように金銭を頂いて生活しているからです。

ラーシヤ村長には、感覚の欲を楽しむ生活も、身を苦しめる苦行も、人生の理想到達には難しいと説きます。暴力を用いずして、正当に財を求め、その財によって自分を楽しませ幸福にするだけでなく、その財を他にも分配して、慈悲博愛の慈善を積み、財に対して執着を捨て、財のために心が乱されることの無いよう教え導きます。合掌(奥原豊龍)

田舎道秋の暮れ寂し鐘響く 燃える夕焼け命のともしび 田辺多恵子



10月22日 ともしび説法にて

ともしび法話

晩秋を迎え、皆様方お元気ででしょうか。寒くなると新型コロナだけでなく、インフルエンザの流行も心配ですね。

お寺でも、11月3日秋の報恩講法要が感染予防で中止となり寂しい限りです。その代わりに「ともしび説法」を任職が致します。ミニ法要として是非お参り下さい。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

今年の9月27日に夫の富雄が享年八十一歳でお浄土に旅立ちました。北九州生まれで、戦後苦勞しながら大学もいきました。会社の転職で倉敷に縁があり、懸命に働いてくれました。感謝でいっぱいです。倉敷市日ノ出町 樋口貴代美

コロナ禍で大変な世の中ですが、頑張っています。満八十二歳の高齢ですが、来年は地区の会長を順番で引き受けました。年寄りばかりの地区は、困ったことです。岡山市南区藤田 吉井 三郎

コロナ禍で遠慮しつつ買い物へ 寺の鐘鳴り秋は暮れゆく 倉敷市早高 簗田れい子

ともしび説法

日時・十一月 三日「火曜日」 午後一時から午後四時まで。
十二月 十八日「金曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

- 一月 一日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 二月 十九日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
- 三月 九日(火)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



いづるの詩

晩秋の夜風は身にしみる
安らかな幸せ求め
いつもひっそり生きてきた
ゆるやかな坂道を登るように
延々とゆくり前に進む
喜びあれば悲しみも深まる
下り坂は寂しけれど楽しい



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらおうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「370号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦